

園芸豆図鑑 Vol.11 スイセン

水仙

narcissus



財団法人相模原市みどりの協会

水仙

narcissus



スイセンを咲かせたことがありますか。
あなたがスイセンを思う時、
白い小さな房咲きの花の姿が浮かびますか。
それとも黄色いラッパズイセンの陽気な姿でしょうか。
スイセンにはたくさん品種があります。
花弁とカップ状やラッパ状の副花冠の組み合わせで、
清楚な花から華やかな花までいろいろです。
あなたの側に咲くスイセンはどんなふう
風に揺れるのでしょうか。

ヒガンバナ科 スイセン属 Narcissus

花は1茎1花または房咲き。

球根は鱗茎で、その中心から花茎を出し、帯状や線形の葉を2~5個つける。内花被片と外花被片は白か黄色で各3個。

副花冠はカップ状やラッパ状で白、黄、赤、桃色。

3~4月に開花するが、11月ごろから咲く種もあれば、秋咲きもある。

スイセンの原種は変種、亜種含めて約60種以上あるといわれています。原産地は主にスペイン、ポルトガル、アフリカ北部などの地中海沿岸諸国です。

その中でフサザキスイセン(*Narcissus tazetta*)は、古くシルクロードを経て、中国に渡りました。その後、人の手で運ばれてきたのか、海流に乗って海岸に流れついたのか、はっきりわかりませんが、越前海岸や伊豆半島などの日本の海岸地帯で野生化しました。わたくしたちがニホンズイセンと呼んでいる花は、はるかな遠い国から来た花なのです。この香ぐわしく清らかな花は、日本の冬の風景に欠かせないものです。冬枯れの庭に凜として咲き、正月の床の間に活かられてきたニホンズイセンは、日本人の生活にすっかりとけこんでいます。

この品種は種子ができないこともあって、日本では品種改良がほとんどおこなわれませんでした。スイセンの原産地といえるヨーロッパではスイセンはたいへん人気があり、さかんに品種改良がおこなわれました。イギリスでは寒さに強いラッパズイセン(*Narcissus pseudonarcissus*)の愛好者が多く、ダッフォディルと呼ばれ、毎年品評会が催され新しい品種が次々つくられています。

1950年イギリス王立園芸協会がスイセンの品種を認定するようになり、登録された園芸品種は2万種を超えています。この中で庭植えや切り花に適している美しい花が残り栽培されています。現在イギリスをはじめ、オランダ、アメリカ、ニュージーランドなどから、さまざまな品種が入ってきており、日本でも新たな愛好者がふえています。



Narcissusという学名の由来は？

2説あります。

1. 麻酔・こん睡を意味するギリシャ語ナルケ(Narke)を語源とするもの。スイセンの鱗茎に含まれる物質ナルシシンがこん睡状態を引き起こすことから名づけられました。スイセンの球根は有毒なのです。
2. ギリシャ神話のナルキッソスを語源とするもの。美少年のナルキッソスが、池の水面に映った自分の姿に恋焦がれて死んでしまい、スイセンに化身したというものです。



「ナルキッソスとエコー」1640年 ニコラ・ブッサン ルーヴル美術館所蔵

川の神とニンズ(妖精)の子のナルキッソスは美しい若者でした。ニンフたちは彼に心を寄せましたが、皆すげなくはねつけられました。おしゃべりのせいでゼウスの妻ヘラに罰せられて、ただ答える場合を除いて人に話しかけることができなくなった可哀想なエコーも彼に恋をしました。しかしエコーも彼に冷たくされ、悲しみのあまり声だけになってしまいました。

ある日狩にでかけて、泉の水を飲もうとしたナルキッソスは、水に映る自分の姿をみて、それが水に住む美しい水の精だと思いこみ、恋に落ちました。抱きしめようと腕を水の中にさし入れると、とたんに相手は逃げてしまいます。しばらくすると戻ってきてまた微笑みかけるので、ナルキッソスはもうその場から立ち去ることができなくなりました。食べることも寝ることも忘れて、泉のふちで水に映る姿をみつめ続け、熱い思いを語りかけ、だんだんと衰弱していきました。エコーはまだ彼の近くにいて、ナルキッソスが最後に「ああ」と叫ぶと、「こだま」で答えました。やがて彼は死に、泉のふちには一輪の美しい花が咲きました。それがスイセンです。

スイセン(水仙)という日本名の由来は？

ニホンズイセン(日本水仙 *Narcissus tazetta* var. *chinensis*)は中国を経て日本にきました。スイセンは中国名をそのままとったといわれています。中国では水の豊かな土地を好むことから水仙と名づけられたということです。室町時代の漢和辞書「下学集」(1444年)に、漢名水仙華、和名雪中花と記されています。雪中花もきれいな名前ですが、定着しなかったようです。唐の時代中国では「捺祇(ないぎ)」と呼ばれていました。

これは古いペルシャ語のナルギと対応し、ギリシャ語のナルキッソスにつながるという説もあります。



青花粉彩花卉瓶から
清代(1736~1795)
故宮博物院 台北 所蔵

スイセンはいつ日本に来たのでしょうか？

よくわかっていません。ニホンズイセンは種子ができない種類なので、中国から球根を運んで来た人がいたという説と、海岸に自生地が多いところから球根が海岸に流れついたのではないかという説があります。スイセンの球根を1ヶ月ほど海水に浸けて耐塩性の実験をした研究者もいます。大丈夫だったということです。

ただ平安時代の文献には記載はなかったといえます。万葉集や源氏物語、枕草子などにスイセンらしき植物は出てきません。万葉集に登場する植物は160種類にも及びます。

スイセンがあれば、これほどの花ですから、うたに詠まれないことはないでしょう。日本の歴史上にスイセンが登場するのは室町時代ですが、安土桃山時代にはすでに生け花の花材として使われていました。江戸時代には衣装、蒔絵、陶磁器など美術工芸品にその姿が描かれました。



イギリス王立園芸協会では、花形、色彩、草姿の特徴により、12群に分類しており、配色と合わせて記号で表されています。

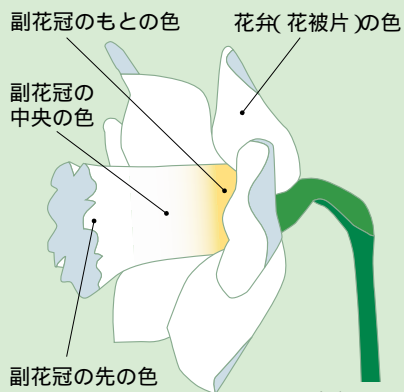


1群

ラッパズイセン

Trumpet narcissi

副花冠の長さが花弁と同じか、花弁より長い。1茎に1花。開花は3月～4月。



1 W - Y W W

群 花弁 副花冠

W-白色
Y-黄色
O-オレンジ
P-ピンク
R-赤色
G-グリーン
C-クリーム
L-レモンイエロー



1群

ラッパズイセン
Trumpet narcissi



7群

ジョンキラスイセン
Jonquilla narcissi



2群

大杯スイセン
Large-cupped narcissi



8群

房咲きスイセン
Tazetta narcissi



3群

小杯スイセン
Small-cupped narcissi



9群

口紅スイセン
Poeticus narcissi



4群

八重咲きスイセン
Double daffodils



10群

原種スイセン

Species and their forms
and wild hybrids



5群

トリアンドルススイセン
Triandrus daffodils



11群

スプリットコロナスイセン
Split-corona narcissi



6群

シクラミネウススイセン
Cyclamineus narcissi



12群

その他

Miscellaneous narcissi



コブレット 1W - Y



マウント フッド 1W - W



ジョセフ マクロード 1Y - Y



ダッチ マスター 1Y - Y



フォーサイト 1W - Y



スペルバインダー 1Y - Y



ライム シフォン 1W - W



ルーナー シー 1Y - W



熊野 1W - Y



2群

大杯スイセン

Large-cupped narcissi

副花冠の長さが花弁の3分の1以上で、花弁より短い。1茎に1花。
開花は3月～4月



アラモ 2Y - R



アイスフォリス 2W - Y



グリーン アイランド 2W - CL



タンジェント 2W - P



ヤングスター 2Y - YR



セルマ ラ ガロフ 2W - YR



絵日傘みたい 2Y - OR



チャイナ レイク 2W - YWW



ロック ロイヤル 2Y - R



エイス 2W - P PW



ライオネル リチャードソン 2W - Y



プロフェッサー アインシュタイン 2W - R



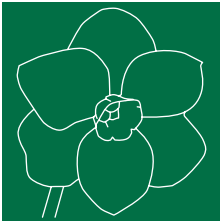
玉盃 2W - WWY



マークスマン 2Y - Y



フォーチュン 2Y - YO



3群

小杯スイセン

Small-cupped narcissi

副花冠の長さが花弁の3分の1以下。1茎に1花。
開花は3月～4月。



エドナアール 3W - GYR



バレット ブローニング 3W - ORR



コロラチュラ 3W - GCL



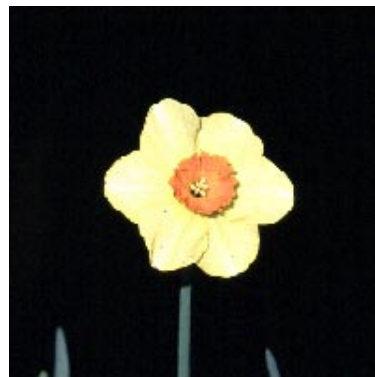
チキータ 3W - P



エアー キャッスル 3Y - Y



友白髪 3W - GWW



パイプ メージャー 3Y - O

4群



八重咲きスイセン

Double daffodils

副花冠、めしべ、おしべともに花弁化して八重咲き(ダブル咲き)になる。1茎1花。
開花は3月～4月。



タヒチ 4Y - YRR



ホワイトライオン 4W - WY



ディックウィルデン 4Y - Y



フラワードリーム 4W - YO



ブライダルクラウン 4W - W



チアフルネス 4W - WWY



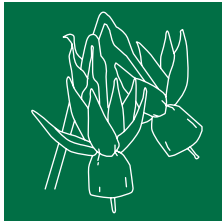
アクロポリス 4W - WRR



バンション 4Y - Y



デュエット 4W - WY



5群

トリアンドルススイセン

Triandrus daffodils

1茎に3~4個の花がうつむきかげんに咲く原種トリアンドルス*の特徴をもつ。
開花は3月~4月。

* 10群(原種スイセン)を参照。

リバティーベル 5Y - Y



ハウエラ 5Y - Y

トレサンプル 5W - YW

アーリッシュメール 5W - W



6群

シクラミネウススイセン

Cyclamineus narcissi

花は下向きに咲くが、花弁が反り返り、副花冠は長い筒状になる原種シクラミネウス*の特徴をもつ。
開花は3月。

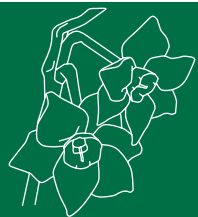


ジェットファイアー 6Y - R

ピーピングトム 6Y - Y

フェブラリイゴールド 6Y - Y

7群



ジョンキラスイセン

Jonquilla narcissi

芳香スイセンともいう。球根から茎を数本出し、1茎に多くの花を咲かせる原種ジョンキラ*の特徴をもつ。開花は4月。



ジョンキル 7Y - Y



フェアリー ホワイト 7Y



サンダイアル 7Y - Y



アボセット 7W - Y Y W

8群



房咲きスイセン

Tazetta narcissi

1茎に房状に花を咲かせる原種タゼッタ*の特徴をもつ。8月中に球根を植え込むと、開花は12月~1月頃。



ニホンズイセン 8W - Y



ソレイユドール 8Y - Y



白雪 8W - W



ゼラニウム 8W - O

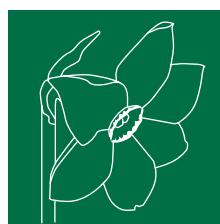


クラグフォード 8W - W



グランド ソリドール 8Y - O

9群



口紅スイセン

Poeticus narcissi

副花冠の先端が赤く、口紅のように見える原種ポエティクス*の特徴をもつ。開花は4~5月頃。



アクタエア 9W - GYR

10群

原種スイセン

Species and their forms and wild hybrids

原種とそれらの形態を備えたもの。(スイセンの原種の研究では統一された定義づけはまだない。イギリスのBlanchard著「Narcissus」による。)



アスツリエンシス *N. asturiensis*

花径2.5cm高さ10cm、2~3月に開花。
スペイン、ポルトガルが産地。1茎1花。花は黄色でうつむいて咲く。副花冠はラッパ状、中間で狭くなり、広がっているのが特徴。最小のラッパズイセン。

ブルボコディウム *N. bulbocodium*

花径3.5cm高さ15cm、1~3月に開花。
スペイン、ポルトガル、アルジェリア、モロッコ、フランス南西部が産地。葉は円柱形。1茎1花。花は黄色か白。花弁は小さく針状で長さ1~2cm。副花冠は口-ト状。

シクラミネウス *N. cyclamineus*

花径4.5cm高さ20cm、3月に開花。
ポルトガル、スペイン北西部が産地。鱗茎は小さく径1cmくらい。花は黄色でうつむいて咲き、花弁は細い楕円形で反転しており、ラッパ状の副花冠と同じ長さである。

カンタブリクス モノフィラス *N. cantabricus monophyllus*

花径3cm高さ15cm、1~3月に開花。
ブルボコディウムに似ているが、1茎1葉1花。花は白色。スペイン、アルジェリア、モロッコが産地。

ジョンクイラ *N. jonquilla*和名キズイセン

花径3cm高さ30cm、4月に開花。
スペイン、ポルトガル、アルジェリアが産地。葉はイグサ状で溝がある。花はあざやかな黄色で強い香りがある。

ポエティクス *N. poeticus*和名クチベニズイセン

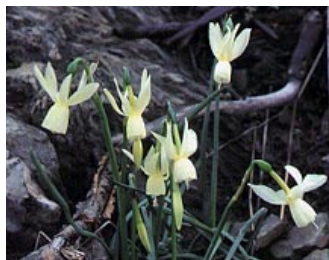
花径4.5cm高さ30cm、4月に開花。
スペイン、フランスからギリシャまで広く分布する。1茎に1~2花がつく。香りがある。花弁は白色、副花冠は平たく1.5cmくらいの円盤状でひだがあり、淡黄色で縁は紅色。ポエティクスは「詩人の」という意味で、ギリシャの詩人たちが競ってこの美しい花をうたったためである。

プセウドナルキッスス *N. pseudonarcissus*

和名ラッパズイセン英名daffodil
花径6cm高さ15~35cm、3~4月に開花。
フランス、スペイン、ポルトガル、イタリア、イギリス、ドイツが産地。花は大小あり、1茎1花。うつむき、または横向きに咲く。花色は黄色、まれに白もある。副花冠はラッパ状で縁に切れ込みや鋸歯がある。

タゼッタ *N. tazetta*和名フサザキスイセン

花径2.5~4cm高さ30~40cm、11月~3月に開花。
地中海沿岸諸国、シシリー島、コルシカ島が産地。古く中国、日本に渡来。1茎多花。香りがある。花弁は白、副花冠は白から黄色でカップ形。



トリアンドルス *N. triandrus* 英名angel's-tears
花径6cm高さ10~25cm、3~4月に開花。
スペイン、ポルトガルが産地。葉は平たく、花はうつむいて咲く。英語ではangel's-tearsという。花色は白、乳白色、黄色、2色のものなど変化に富む。



ルピコラ *N. rupicola*
花径3cm高さ15cm、4月に開花。
スペイン、ポルトガルが産地。1茎1花。花は黄色で香りがある。

ヴェリディフロルス *N. viridiflorus*
花径3cm高さ30~45cm、11月に開花。
スペイン、モロッコ、ジブラルタルが産地。1茎に2~4花つける。花色はくすんだ緑色。花弁は針形でとがっている。副花冠は小さく切れ込みがある。



11群

スプリットコロナズイセン

Split-corona narcissi

副花冠が長さの3分の1以上裂けている。
開花は3月末~4月。

ラストチャンス 11W-Y



ブリンクル 11W-Y

オランジェリー 11W-O

12群

Miscellaneous narcissi

1~11のどの系統にも属さない。
種々雑多な野生種等の交雑種。

その他



ジャンプリー 12Y-Y

水仙

スイセンの育て方

narcissus



スイセンは庭植えでも、鉢植えでもよく咲く球根草花です。コツをおぼえて毎年花を咲かせてみましょう。和風でも、洋風でもアレンジしやすい花です。自然な感じで群生させるのも、落葉樹の下に植え込むのもいいでしょう。最近ブルボコディウムのような原種系がでてきましたので、草丈が低いものはロックガーデンやコンテナで楽しんではいかがでしょうか。



ブルボコディウム



ブルーのムスカリと

開花が同じ頃の他の草花と組みあわせ、スイセンのすらりとした草姿を際立たせます。

球根の選び方

球根は8月から園芸店で売られます。品種が多いので、まず開花時期を確かめます。12月から1月にかけて咲く品種と、3月から4月にかけて咲く品種があり、植えつけ時期が違います。球根を選ぶ時は、傷やカビのあるもの、さわってやわらかい所のあるものは避けます。球根の大きさはそれぞれの品種によって違うので、求める品種の中で、大きく重く、根を出していないものを選びましょう。

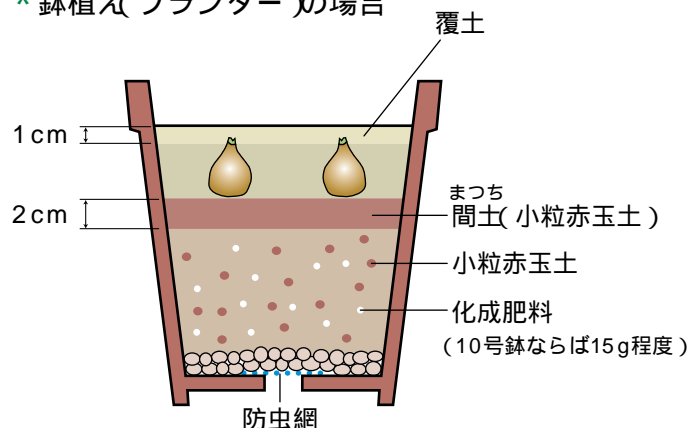
植えつけ

ニホンズイセンなどの分類8群のフサザキスイセン系は8月中旬に植えこみます。その他は9月から10月一杯までに植えこみます。根を出さないうちに早く植えつけましょう。

地植えの場合は、日あたりと排水がよく、夏は日陰になるような場所が好みます。

植えつけ方と用土

* 鉢植え(プランター)の場合



* 地植えの場合

スイセンの根は深いところまで伸びるので、土は30~50cmぐらい深く耕しておく必要があります。元肥として、堆肥とチッ素1:リン酸2:カリ2の配合肥料を1㎡あたり150~200gほど入れてやります。肥料が球根に直接あたらないように5cmほど土をかぶせて球根をならべ、球根の高さの2倍ほど土をかぶせます。

水やりと肥料

鉢植え、プランター植えの場合は土の表面が乾いたら、底から水が流れ出るまで与えます。鉢植えの場合は花が咲き終わったら、緩効性の化成肥料を与えます。プランター植えの追肥は必要ありません。庭植えの場合の水やりはほとんど必要がありません。追肥も必要ありません。スイセンは元肥が大事です。

花を毎年咲かせるコツ

スイセンの球根は葉が肥大したもので有皮鱗茎といえます。鱗片の内側に側芽ができ、それが3~4年くらいで太って、自然に分球します。スイセンが咲かなくなるのは、球根の中がいくつかの分球状態になり、栄養をとりあって花芽のつかない小さな球根ばかりになってしまうからです。また葉がこみ過ぎて、日光が充分あたらなくなってしまうからです。

鉢植えのように密に球根を植えた場合は、毎年掘りあげて植え替えます。間隔を充分あけて植えた場合でも、3~4年ごとに球根を掘りあげ、分球して植え替えることが必要です。

1. 葉が半分ほど黄色くなったら掘りあげる。
2. 球根を傷つけないようにして根を切捨て、10株ほどを一束にして風通しの良い軒下などにつす。
3. 完全に乾いたら、傷口を大きくしないように気をつけて球根を分けて、消毒剤(ベンレートなど)を塗る。傷口が乾燥し、選別作業が終わったら、植えつけ時まで日陰で風通しのよい、雨のあたらない場所で保管する。
4. 品種名のラベルをつけておく。

この花はスイセンですか?

* スノーフレーク ヒガンバナ科レウココム属



俗にスズランスイセン(鈴蘭水仙)と呼ばれていますが、スイセンではありません。3月に白く可愛い花がたくさん咲きます。

* スノードロップ ヒガンバナ科ガランツス属



俗にマツユキソウといわれています。早春の花として人気ですが、スイセンではありません。花色は白で下を向いて咲きます。



水仙

narcissus

園芸豆図鑑 Vol.11 スイセン

参考文献

Modern Miniature Daffodils
Narcissus
球根草花図鑑500
球根草花
水仙によせる想い
園芸植物大事典

James S. Wells
John W. Blanchard
英国王立園芸協会編
林 角郎
福井県越廼村

B. T. Batsford Ltd
Alpine Garden Society
日本ヴォーグ社
誠文堂新光社
越前水仙の里公園
小学館

監 修 川崎 矩夫（越廼村水仙の里管理課、日本水仙協会会員）

協 力

財団法人公園緑地管理財団「国営ひたち海浜公園」
茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605 - 4
TEL029 - 265 - 9001

松林の中には127種、90万株のスイセンの花が咲きます。自生地以外では国内随一。3月下旬から4月中旬にかけての開花時期にはスイセン ファンタジーが開催され人気を集めています。



越廼村越前水仙の里公園

福井県丹生郡越廼村居倉43 - 25
TEL0776 - 89 - 2381

越廼村から越前町にかけての海岸段丘には日本海から吹きつける寒風の中、「越前水仙」と呼ばれているニホンズイセンが咲きます。また水仙ドームでは1年中ニホンズイセンを咲かせています。スイセンの歴史資料や原種の標本などを集める水仙ミュージアムも充実しています。



株式会社第一園芸

発 行 財団法人 相模原市みどりの協会
〒228-0828 神奈川県相模原市麻溝台2317 - 1 TEL042 - 777 - 2860